

2025. 4. 2

「安倍川水力発電所」を活用したオフサイト型バーチャル PPA を導入

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、地域の脱炭素化実現に向けた取り組みを加速させるため、中部電力グループの「安倍川水力発電所」を活用したオフサイト型バーチャル PPA サービスを導入することとしましたので、その概要をご案内します。

本取り組みにより、すでに導入済みの「しずぎんソーラーパーク」「静岡 Green でんき」と合わせて、「しずぎん本部タワー」を含む静岡銀行の本部施設は概ね、静岡県内の太陽光・水力発電由来の電力により賄われることとなります。

また、今後は契約期間である 20 年間にわたり、安倍川水力発電所から生み出される再生可能エネルギー由来の環境価値を長期的かつ安定的に確保することが可能となり、年間約 1,700 トンの温室効果ガス排出量を削減する見込みです。

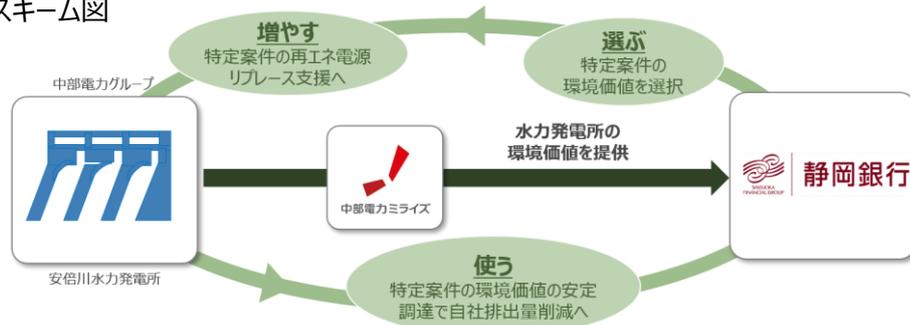
1. オフサイト型バーチャル PPA 契約の概要

- (1) 発電所名 / 安倍川水力発電所（4月2日運転開始）
- (2) 所在地 / 静岡県静岡市葵区入島・梅ヶ島・有東木
- (3) 水系・河川名 / 安倍川水系・安倍川
- (4) 発電所の出力 / 7,500kW
- (5) 静岡銀行の温室効果ガス削減量 / 約 1,700 トン（年）
- (6) 導入日 / 4月2日

2. 取組意義

- 静岡銀行では、グループで「2030年度までにカーボンニュートラル（Scope1・Scope2）を達成する」目標を設定するとともに、グループで取り組む第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」のサステナビリティ指標に「静岡県内の温室効果ガス排出量の削減率」を掲げ、率先して省エネや再生可能エネルギーの導入に取り組み、地域の脱炭素化を推進しています。
- バーチャル PPA サービスは、再生可能エネルギー電源由来の電気と環境価値を切り分けて提供されるとともに、昼夜・季節等に影響されることなく、柔軟に当該電源由来の環境価値を活用した実質再生可能エネルギーを調達することができます。
- 今後は、本発電所から生み出される再生可能エネルギー電源由来の電気と環境価値を活用した実質再生可能エネルギーを長期にわたり安定的に調達することで、脱炭素化への取り組みをより一層加速させ、地域の持続的な成長に貢献してまいります。

<ご参考>スキーム図



未来がはじまる場所になる。



しずおかフィナンシャルグループ